

**印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業
地域振興策検討委員会第3回会議 会議録（概要版）**

議 題	地域振興策検討委員会第3回会議
日 時	平成27年7月26日（日） 13:00～16:00
場 所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室
出席者	委員：8名（松崎区未選出）、事務局：6名、関係市町：3名、 コンサル：4名
配付資料	印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会第3回会議資料、地域振興策に関する委員意見書ほか

主 たる 事 項

1. 開会

会議録署名は政所副委員長と小野委員を指名。

2. 会議録について（第2回会議）

(1) 次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会第2回会議録（概要版・全文会議録）について、事務局より説明。

3. 施設整備基本計画検討委員会第3回会議の報告について

(1) 次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画検討委員会第3回会議の概要について、事務局より説明。

4. 意見書について

- (1) 渡邊委員から提出された意見書（第3回会議資料（案）に対する意見）について、委員本人より概要説明。
- (2) 当日配付された大谷委員からの意見書（吉田区の課題と解決策）については、議事の8で委員本人により説明。

5. 地域に求められる将来像（再審議）について

(1) 前回議事「地域に求められる将来像」の修正点として、「持続可能性」が計られること。を項目として追加。

6. 地域の課題（再審議）について【(1)、(2)事務局、(3)コンサルタントより説明】

- (1) 前回議事「地域の課題」の修正点として、課題項目(3)「公共交通の不足」を「インフラの不足」と変更し、括弧書きにより上下水道・道路・公共交通を網羅する形にする。【事務局より説明】
- (2) 景観上の対策として「土地利用のコントロール」を課題項目(6)として追加。【事務局より説明】
- (3) 課題項目ごとに裏付けデータを作成し追加資料とした。【コンサルタントより説明】

7. 地域振興策のイメージ図について

(1) 地域振興策の全体的なイメージを掴むため、本体施設を中心に置き、各地域振興策を類型ごとに8つに分類したものを、展開する地域振興策を総合パッケージとして表したイメージ図により説明。【事務局より説明】

8. 地域振興策のアイデア（議事9と一括審議）

9. 吉田区の課題と解決案について

※議事8・9は関連性があることから委員長判断により一括審議となる。

※「地域振興策のアイデアについて」の資料について事務局より説明。

※「吉田区の課題と解決案」、大谷委員からの意見書「振興策視察候補提案」、「吉田区の課題（農業振興）」について委員本人から説明。

(1) アイデアリストについて

- ・地域振興策を進めるにあたっては、周辺の地形や自然との調和を図り、空間特性に応じて環境面にも配慮するということが冒頭に記載することを確認。
- ・前提条件として、吉田地区は現時点では建設候補地であり、本検討会で提示する地域振興策によって吉田地区からの合意を得ることを目指すものである。また、吉田地区のメリットを模索しつつも、印西市民にも賛同を得られるようなバランスが重要である。

(2) 里山の価値について

- ・吉田地区の里山景観は、保全すべき価値があることに揺るぎはないが、他地域と比較して優位な観光資源として価値があるかということとは別の問題である。観光資源として打ち出すには手の込んだ施策を打つ必要があるが、その決断をするかというところから考える必要がある。
- ・環境学習だけでは収益につながらない。温水利用を中心として、意欲ある若者層を地域の高齢者層がサポートしていくような事業経営の観点と、それを里山保全につなげていく観点が必要である。

(3) 農業振興について

- ・朝採れ野菜の直売場を設置するのであれば、市場競争力が低いものを集めるなど、端境期に直売場が空にならないような工夫等が必要。経営の安定化に5～10年かかるので、早めに手を打つべきである。
- ・農業振興には、大規模集積・企業化する方向だけでなく、クラインガルテンを活用した高級住宅地としてブランド化する方向、公園管理の一貫として菜園と散策路を組み合わせる観光資源とする方向などが考えられる。地域特性を加味して方向性を検討していくことが必要。

10. 先進地の視察について

- ・時間の都合上、次回以降に審議。

11. その他

- ・次回（第4回）会議の日程については、8月30日（日）13:00から印西クリーンセンターにて開催。

12. 閉会